

手前の洗濯機やライトもおしゃれな  
「クールな1K」



教師志望だった工学部建築学科4年、古川信一さん(22)は、リフォーム授業に関する卒業論文執筆のため、1年生10人と大学近くにある築約30年の賃貸ビル(東区香住ヶ丘2)の1室のリフォーム実習に取り組んだ。

ビルの空き部屋8室の改裝を低予算で請け負つていた、建築士の宮城雅子さん(39)と知り合ったのがきっかけ。学内の部屋の改裝許可が出ず、困っていた時に見つかった“物件”だった。リフォームした部屋(6畳1K)の概念は、

男子学生3人が同時に提案した簡素かつおしゃれな感じの「クールな1K」。畳からこげ茶色のフローリング、部屋の壁・天井は白く再塗装、浴室には白とグレーのタイルを市松模様に張り、浴槽は撤去してシャワ

九州産業大学の学生が卒業研究で、実際の部屋のリフォームを手掛け、賃貸物件として貸し出される。また志賀島(東区)にアジアへ向けたゲートタワーを造る構想をまとめた学生も。それぞれユニークな研究として学内で注目された。

【幸島朋子】

## 九産大のユニーク卒研

# 建築学科 古川さん 1K「クール」に改裝 貸貸に

「リフォームに興味を持ったのは、困っているマイナスの状態からプラスに転じる行為だから。実習があったことで、学生のやる気も上がった。力したい」と古川さん。

実習と、平面図のトレ

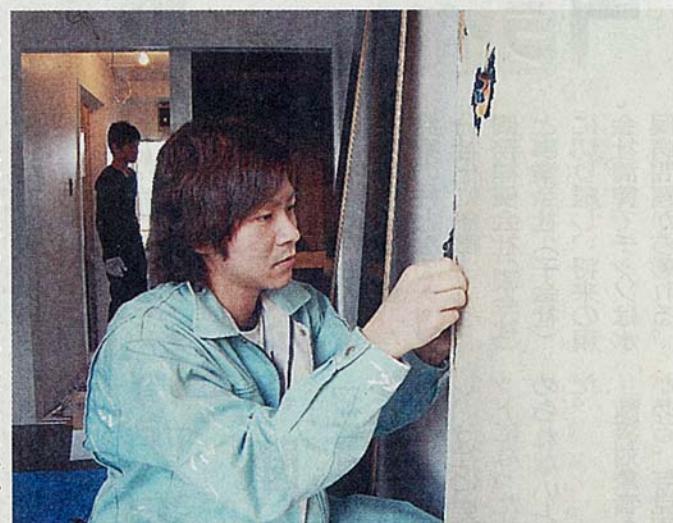
どが採用され、塗装やタイル張りは学生が主にした。

「リフォームに興味を持ったのは、困っているマイナスの状態からプラスに転じる行為だから。実習があったことで、学生のやる気も上がった。力したい」と古川さん。

実習と、平面図のトレ

4・5月の予定は、

機会をくれたビルのオーナーのためにも、今月半ば予定の改裝完了まで協



自ら現場にも立った古川さん

ース、予算内でデザインするプランニング授業などを対象としたリフォ

ムの授業計画とその評価」としてまとめた。

部屋の賃料は月額2万6000円(共益費別)。部屋のイメージは

http://www.gyouritsu-sumika.com

で確認できる。問い合わせはエストの2・72